

【令和8年度 第1学年 国語科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。
主体的に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使用している。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字テスト（小テスト、漢字コンクール）	30		40
表現活動（作文、詩の創作、スピーチなど）		40	20
定期考査	50	50	
書写	20		10
授業観察 提出物		10	30
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 社会科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査	60	55	
単元振り返りシート		25	30
ワークシート		5	30
小テスト	20		10
問題集			10
レポート等	10	10	10
授業中の課題・取組	10	5	10
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 数学科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査	70	50	30
小テスト・単元テスト	30	30	
レポート		20	20
リピート等のワーク			40
振り返りシート			10
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 理科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	自然の事物・事象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査	40	40	
小テスト（数種類）	45	40	
レポート	15	20	15
行動観察（授業・実験・発言内容）			40
宿題等の提出物の内容			40
復習・振り返り			5
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

観察実験や定期考査の回数及び課題の数などが学期により異なるため、各観点の評価項目の割合は学期により異なる。思考・判断・表現の観点は、行動観察によっては加点する。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 英語科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 - 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを読み、聞き、理解し、これらを活用して表現したり伝えあったりしている。
主体的に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査	50	50	
パフォーマンステスト	30	30	
単語テスト	20		
ワークシート		20	60
提出物			20
レポート			20
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和 8 年度 第 1 学年 音楽科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3 観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
ワークシート	25	30	45
実技テスト	35	30	20
授業・発表等による評価	5	5	20
定期テスト	35	35	15
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3 段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5 段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5 段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 美術科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	美術に関する基礎的な知識を理解するとともに、発想や構想をもとに材料や用具の特性を生かして表現する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	造形的な見方・考え方を働かせ、発想や構想を広げ、表現を工夫する力を身に付けている。また、作品や美術文化を鑑賞し、その良さや価値を考え、自分の考えを深める力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	美術の創造活動に主体的に取り組み、よりよい表現や鑑賞を目指して粘り強く学習するとともに、学んだことを振り返り、生活や社会の中の美術や文化に親しもうとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
作品や実技による成果	30	50	40
学習の振り返り		20	30
定期考査	70	30	20
行動観察（授業・発言内容）			10
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

作品の規模や課題の数が学期により異なる為、各観点の評価項目の割合は学期により異なる。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和 8 年度 第 1 学年 保健体育科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3 観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査	50		
スキルテスト	50		
学習ノート		70	50
授業内観察		20	
小テスト		10	
授業の取り組み			50
観点の割合	100%	100%	100%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3 段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5 段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5 段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2 学期の成績は、3 つの評価の観点の合計を 3 (1) の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3 年 2 学期の成績は、1・2 学期の合計を 2 (2)、3 (1) の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3 学期の合計を 2 (1)、3 (1) の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 技術科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
レポート		10	15
作品	15	15	10
技能テスト	10		5
提出物（授業内成果）		5	20
定期考査	25	20	
観点の割合	50%	50%	50%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

90%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。

【令和8年度 第1学年 家庭科 評価計画】

1 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣 旨
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

2 観点別学習状況の評価(絶対評価)

(1) 観点別学習状況の評価計画 3観点

評価項目 \ 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
学習内の振り返り		30	10
作品や実技・学習活動における成果	20		10
提出物	5	20	10
定期考査	25		
授業および授業に向けての取り組み			20
観点の割合	50%	50%	50%

目標に準拠した評価とし、評価の観点ごとに、3段階（A・B・C）で行う。

(2) 観点別学習状況の評価の基準

80%以上の達成値である場合	「十分満足できる」	A
50%以上 80%未満の達成値である場合	「おおむね満足できる」	B
50%未満の達成値である場合	「努力を要する」	C

3 評定

★評定は、5段階（5・4・3・2・1）で行う。

(1) 5段階の内訳と評定の基準

090%以上の達成値である場合	5	「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
80%以上 90%未満の達成値である場合	4	「十分満足できると判断されるもの」
50%以上 80%未満の達成値である場合	3	「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上 50%未満の達成値である場合	2	「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成値である場合	1	「一層努力を要すると判断されるもの」

(2) 1・2学期の成績は、3つの評価の観点の合計を3(1)の基準を基に、評定を算出する。

(3) 3年2学期の成績は、1・2学期の合計を2(2)、3(1)の割合で評価・評定を算出する。

(4) 学年末の成績は、1・2・3学期の合計を2(1)、3(1)の割合で評価・評定をする。